

せらび

第一一八号

— 発行 —

社会福祉法人
せらび後援会
0144-75-2328

年始挨拶

コロナに負けず健康一番で！ 社会福祉法人せらび後援会会長 名越晴男

新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。みな様には後援会活動に特段のご理解とご支援を賜りありがとうございます。さて新型コロナウイルス感染も更に形態を変えたものが蔓延し依然として予断が許せません。一人ひとりが尚一層の感染防止に努めることが求められています。昨年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されアスリートの活躍に大きな感動を国民は享受しました。とりわけ

パラリンピック競技において健常者が障がい者の選手と一体となってエスコートする姿、そしてゴールした直後、選手とサポーターは抱き合っただけ喜びを共有しあう場面をテレビで観たとき、まさに多様性の社会の中で「共に生きる」、すなわち「共生社会」の意義が鮮やかに映し出されたものでした。本年も共生の職域で頑張っている「せらび」にエールをよろしく申し上げます。



年頭にあたって

社会福祉法人 せらび
理事長 菅原雅夫



新たな年を迎え謹んであいさつ申し上げます。会員及び関係者の皆様には、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃より温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

一昨年より、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、様々な事業や生活者の社会活動が制限され続けている状況が続いておりますが、なかでも困窮している多くの方々

目標に向かって 進める支援を 就労支援センターおまねっと

2022年がスタートしました。新型コロナウイルスが初めて国内で確認されたから丸2年が過ぎましたが、収束するどころか年明けから全国的に感染が急拡大、これまで感染予防対策を徹底してきましたが、いつまで続くのだろうと不安を抱えている方は多いと思います。そんな中でもOmnetでは皆さん前向きに日々の作業に取り組んでいます。

1月中旬の大雪で交通機関は大幅に乱れましたが、数日間はメンバーにも協力してもらい、建物周りの除雪をしました。11月からスノーバーでの体験実習を行っています。就労を考える良いきっかけになったというメンバーや、実際に就職活動を開始したメンバーもいます。目標に向かって進めるよう今後

に私達はもつと目を向ける必要があるかと感じております。コロナ禍での予防的措置は、人と人との関りを希薄にし、マスクによって表情が伝わらなくなるなど、対人間の心理的距離をますます遠ざけているように感じるこの頃です。まだまだ困難な状況が続くと思われませんが、役員一同、力を合わせて法人の諸事業を実りのある年にしたいものと思っております。後援会活動におきましては、みなさま方のお力添えを頂戴しながら引き続き推進していく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ホッとできる 居場所作りを

苫小牧地域生活支援センター

一時下火となったコロナウイルスも、新たな変異株の出



もしかかりサポートをしていきたいと思えます。今年もどうぞよろしく申し上げます。

商品開発への取り組み ケアセンターアルドル

多くのリクエストを頂いているアルドルの新商品についてですが、春に向けて現在商品開発に取り組んでいます。人気のちくわパンは、リニューアルをして新しい味となる予定です。他にも食感が癖になるたくあんを使用した総菜パンや、お子様にも人気のスイーツパンなどを販売する予定です。現在、販売に向けて試作を行っています。どのパンもご満足いただける商品となるようにメンバー、スタッフ一同、協力して取り組んでいきます。新商品の販売開始に合わせて、チラシの配布なども行いますので、楽しみにお待ち下さい。

ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。

▽ 法人寄付

藤澤澄江様

▽ 後援会会費

石黒理絵様、笹原浩史様、北岸由利子様、関矢和男様、藤田雄治様、藤田保子様

2021年度の会費納入にご協力、お願い致します。
年会費は左記の通りです。

- ・ 個人会費 一口 五千円
- ・ 団体会費 一口 二万円
- ・ 賛助会費 一口 三千円